

保護者様

平成30年2月6日

福岡市立千代中学校
校長 細田 秀樹

「福岡市学習定着度（1年生）に関する調査」の結果について（公表）

1. 調査結果

以下の調査結果の公表については、福岡市教育委員会の「公表ガイドライン」に沿ってなされており、説明で使用している語句や文章表現はガイドラインに則したものです。

本校の得点結果は、福岡市の平均と比べて、国語は「努力を要する」、数学は「同程度である」でした。各教科ごとの観点別得点率については、次の結果となっています。

- ①国語については、すべての観点において、福岡市の平均と比べて、努力を要します。
- ②数学については、「数量や図形などについての知識・理解」において、福岡市の平均を上回っており、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」において、福岡市の平均と同程度でした。

2. 分析した傾向や課題

①国語

【聞く】

話の要旨を考えながら聞きとることに課題があります。

【読む】

文章の構成や要旨を整理して理解することに課題があります。

②数学

【計算】

小学校の内容である「小数や分数の計算」や「面積や多角形の内角の和」に課題があります。

【文字を用いた式】

中学校の内容である「文字を使った式」については、文字を使って数量を表す力が不足しています。

3. 今後の取り組み

①国語

- ・「聞く姿勢」の取組を授業中だけでなく、あらゆる場面で徹底させることで、「聞く姿勢」を整え、そのうえで話の要旨を確認しながら、授業を進めていきます。
- ・授業にて、文章の内容を理解することを重視します。そのうえで、単元末ごとに読解問題を解かせることで、内容の定着をはかります。

②数学

- ・授業の最初に、授業の進度にあわせて既習内容の理解を確認する小テストを実施します。すぐに採点を行い、生徒の正答率によって解説や生徒同士の学び合い学習を取り入れます。また授業中に、小学校の内容をフィードバックする発問等を交え、小学校の内容と中学校の内容につながりをもたせ、学習内容の定着につなげていきます。